

新年度のまちづくりを問う！
会派で行う集中質問

(会派質問 通告一覧表)



令和4年3月定例会

周南市議会

令和4年第2回周南市議会定例会

会派質問通告一覧表

◆3月1日（火）

- 1 アクティブ（280分）…………… 1
（土屋晴巳、井本義朗、岩田淳司、清水芳将、藤井康弘、細田憲司、山本真吾）

◆3月2日（水）

- 2 周南市民の会（240分）…………… 6
（小林雄二、島津幸男、尾崎隆則、篠田裕二郎、田中 昭、友田秀明）

◆3月3日（木）

- 3 志高会（160分）…………… 7
（福田健吾、佐々木照彦、小林正樹、吉安新太）
4 公明党（160分）…………… 10
（金子優子、遠藤伸一、江崎加代子、小池一正）

◆3月4日（金）

- 5 日本共産党（120分）…………… 11
（魚永智行、中村富美子、渡辺君枝）
6 自由民主党周南（120分）…………… 13
（古谷幸男、田村勇一、福田吏江子）
7 参輝会（120分）…………… 15
（福田文治、長嶺敏昭、青木義雄）

1 アクティブ

1 施政方針に対する質問

2 新年度予算に対する質問

1 一般会計 総務費 総務管理費 広報広聴費 シティプロモーション事業費

- (1) シティプロモーション業務委託料1,320万円の詳細は。
- (2) 令和3年度と同程度の予算規模だが、今年度と同様の展開内容を想定しているのか。

2 モーターボート競走事業会計 資本的支出 建設改良費 設備改良費

- (1) 設備改良費5,000万円の内容は。

3 一般会計

- (1) 令和4年度当初予算の特徴を「子ども・子育てにやさしいまちへ」「住み続けたいまちへ」「デジタル技術を活用した利便性の高いまちへ」「環境にやさしいまちへ」の4分類に分けている。初めてのことであるが、その意図は。
- (2) 第2次まちづくり総合計画後期基本計画に明記されている10の主要プロジェクトとの連携性は。

4 一般会計

- (1) 新型コロナウイルスとの闘いも3年目を迎える。この間、市民生活や経済に大きな悪影響を与えている。令和4年度の当初予算は661億9,700万円で、この10年で3番目の規模、5年ぶりの増額予算になっている。そこで、以下を問う。
ア 歳入の4割を占める市税のうち、法人市民税が前年比38.6%の増、個人市民税は3.4%の増額予算となっているが、その根拠は。
イ 令和3年10月に発表された令和4年度周南市予算編成方針では、19億8,600万円の財源不足を見込んでいた。当初予算では財政調整基金からの繰入額は約10億8,500万円となっているが、その要因は。

5 一般会計 繰入金 基金繰入費 子ども未来夢基金繰入金

- (1) 子ども未来夢基金を10億4,150万円取り崩し、18事業に活用している。ハード事業、ソフト事業それぞれへの充当額と割合は。

6 病院事業会計

- (1) 本年4月から予定されている診療報酬等の改定の影響は。
- (2) 新南陽市民病院は新型コロナウイルス感染症の疑いがある患者の受入協力病院であり、受け入れた場合には国の緊急包括支援事業として補助対象になる。そのため平時の業務量で予算化された令和2年度では当初予算と決算時に大きな違いが生じた。市としてはどう考えているか。

7 介護老人保健施設事業会計

- (1) 令和3年10月に訪問リハビリテーション事業を開始した影響もあり、当初予算は黒字予算になっている。本来、介護老人保健施設事業は収益事業であり、黒字化を目指すのは当然である。そこで、純利益が出た場合の指定管理料について市の考えを問う。

8 一般会計 衛生費 保健衛生費 診療所費 診療所管理運営事業費

一般会計 衛生費 保健衛生費 診療所費 北部診療体制検討事業費

(1) 北部とは、どの範囲までを考えているのか。

(2) 北部診療体制の検討とは具体的に何をするのか。また、検討によっては診療所管理運営事業費の見直しを行うのか。

9 一般会計 土木費 道路橋りょう費 交通安全対策費 通学路安全対策事業費

(1) 通学路の安全対策は、重要な事業と認識しているが、前年度比約8倍の予算計上に至った経緯は。

(2) 集中的かつ継続的な取組が必要であると考えますが、どうか。

10 一般会計 民生費 老人福祉費 老人福祉費 高齢者バス・タクシー運賃助成事業費

(1) 令和2年度からスタートした事業だが、約2,000万円を増額した根拠は。

11 一般会計 土木費 都市計画費 土地対策費 宅地耐震化推進事業費

(1) 大規模盛土造成地の現地調査とは、どのような調査か。

12 一般会計 商工費 商工費 企業立地推進費 企業立地促進事業費

(1) 企業の立地促進は大変喜ばしいことだが、2億1,000万円もの予算を計上している。有効活用するためにも、どのように企業に支援していくのか。

13 一般会計 衛生費 保健衛生費 母子保健費 母子保健指導事業費

(1) 発達相談会と発達支援学級の内容は。

(2) 拡充を行う理由は。

14 一般会計 教育費 教育総務費 教育指導費 GIGAスクール構想推進事業費

(1) ICT教育アドバイザーを1名増員し、2名にする理由は。

15 一般会計 総務費 総務管理費 情報推進費 スマートシティ推進事業費

(1) 本市の公共施設予約サービスは、令和2年10月1日から開始されたが、現在の登録者数は。

(2) 利用者増加に向けた取組は。

16 一般会計 衛生費 環境衛生費 環境対策費 脱炭素社会推進事業費

(1) 本市の戸建て住宅ZEH、EV・PHVそれぞれの普及率はどの程度か。

(2) ZEH5戸50万円、EV・PHV70台500万円の普及促進補助金が計上されているが、その根拠は。

(3) 一般財源を使用してまで補助金を交付する必要があるのか。

17 一般会計 総務費 総務管理費 財産管理費 普通財産管理事業費

(1) 用途廃止後そのままとなっている建物は現在幾つあるのか。また、このたび3施設の解体予算を計上しているが、どのような理由で当該3施設を選定したのか。

18 一般会計 教育費 小学校費 小学校建設費 小学校改修事業費

一般会計 教育費 中学校費 中学校建設費 中学校改修事業費

(1) 学校施設等長寿命化計画に基づき計画的に予算化されたものと認識するが、前年度比約4.8倍となる約7億5,680万円が予算計上されている。このような増額はどのような経緯からか。

(2) 計画に基づき着実な取組が求められるが、市の考えは。

19 一般会計 総務費 総務管理費 情報推進費 スマートシティ推進事業費

(1) 事業が拡充されているが、具体的な取組内容は。

20 一般会計 土木費 道路橋りょう費 道路橋りょう総務費 道路施設情報伝達システム事業費

(1) 道路メンテナンス支援アプリを導入することだが、その具体的内容は。

3 一般質問

1 新型コロナウイルス感染症に伴う自宅療養者等への支援について

(1) 今年に入ってから新型コロナウイルス感染者の急激な増加に伴い、市内でも自宅療養者や濃厚接触者が急増している。突然、家族全員が外出できない事態に陥ると、食料品や日用品、また、家庭内感染を防ぐためのマスクなどの衛生用品が入手できなくなり、自宅療養・待機中の生活に大きな支障が生じる。親族等から支援が受けられない方に対して、市から食料品等を支援することはできないか。

2 新型コロナワクチン接種について

(1) 村岡知事は県内19市町の市長、町長とのオンライン会議で、6月までの計画を前倒しし、4月末までに3回目のワクチン接種の完了を目指す方針を示した。新型コロナウイルスのオミクロン株が猛威を振るう現状の打開策として、本市で3回目のワクチン接種がより迅速に進められることが期待される。そこで、以下を問う。

ア 本市の当初の計画よりも大幅な前倒しとなるが、4月末完了を目指した3回目のワクチン接種の方法とスケジュールはどうなるのか。

イ 3回目は接種率が上がらないという予測もあるが、本市の目標値は。

ウ オミクロン株への有効性を疑問に思う市民もいると思うが、市としての認識は。

エ 確保しているメーカー別のワクチンの割合は。また、モデルナ社製のワクチンを敬遠する人もいると聞くが、その一方で交接種のほうが効果が高いという情報もある。正しい情報を市民に周知して3回目の接種率を高める必要があると思うがどうか。

(2) これから5歳から11歳までの子供へのワクチン接種が始まる。特にオミクロン株は従来株に比べて子供にも感染しやすい傾向があり、小学校などでのクラスターの発生を防ぐためにも、子供へのワクチン接種には意義がある。しかし、安全性などに不安を抱える子供や保護者も多く、接種を実施する市としては難しい対応が迫られる。そこで、以下を問う。

ア 本市の、5歳から11歳までの子供へのワクチン接種の方法とスケジュールは。

イ 子供へのワクチン接種の安全性について、市はどのような認識を持っているのか。

(3) 5歳から11歳までの子供たちへの新型コロナワクチン接種の拡大は、ブレークスルー感染と重症化のリスクの大きいデルタ株の出現を受けて政策課題に上がったものであり、子供が感染しても重症化のリスクが極めて小さいオミクロン株が主流になった現状では本来慎重に検討し直さなければならないものである。しかし、国は、接種の努力義務は外すという中途半端な形で5歳から11歳までの子供たちへの新型コロナワクチンの接種を決定した。そのため、実際に接種事業を行う市は非常に難しい対応をしなければならない立場にある。そもそも、大人と違い特に小さな子供は免疫反応が多種多様で医師も予期できない反応を示すことが少なくない上に、今回接種するメッセージーR

NAワクチンは、今までの不活化ワクチンなどとは全く仕組みが異なり、ウイルスのスパイクたんぱく質の遺伝子情報を体内に入れて免疫反応を起こすという史上初めてのワクチンであるため、長期的な安全性はまだ確認されていないというリスクを抱えている。言うまでもなく、このリスクは年齢が高くなるほど小さくなり、年齢が低くなるほど大きくなる。子供でも重症化するリスクがあるとされたデルタ株であれば、そのようなデメリットよりもワクチンを接種することにより得られる感染予防というメリットのほうが大きいと言えるが、子供が重症化するリスクがほとんどないオミクロン株の場合、接種のメリットのほうが大きいかは微妙と言わざるを得ない。しかし、決まった以上、市としては実施するほかないが、あくまでも接種するかどうかは公正で客観的な情報に基づいた本人と保護者の自由な判断によるという大原則が実効性を有するように、例えば、①できるだけ同調圧力がかからないように個別接種を基本にするなどの接種環境の整備に努めたり、②予想より接種希望者が少なく余剰ワクチンを廃棄することになっても問題視しないという方針を事前に決めておいたり、③学校においてワクチン接種の有無による差別等が発生しないように十分な教育上の配慮をするなどの必要があると考えるがどうか。

- (4) 弱毒性だが感染力は非常に強いオミクロン株が主流になってから、ワクチンを2回接種している人にも急激に新型コロナウイルスの感染が広がっている。そこで、最近新型コロナウイルスに感染して回復した人も、3回目のワクチン接種をすべきかどうかの問題になっている。通常、感染した人は免疫ができるので再感染し難くなるのだが、自然感染で得られる中和抗体は質・量ともに個人差が大きく、ワクチン接種で得られる中和抗体のように良質で十分な量の中和抗体を自然感染で獲得することは難しいとされているし、増加した中和抗体の減少速度も速いと考えられる。したがって、既に新型コロナウイルスに感染して回復した人にも、3回目のワクチン接種をすることを推奨するのが妥当である。ただし、感染歴のある人にメッセンジャーRNAワクチンを接種すると、新型コロナウイルスのスパイクたんぱく質に対する血中の中和抗体値が、感染歴のない人に比べて非常に高くなるという検査結果が報告されているので、感染から間隔を置かずにワクチンを接種すると副反応が強くなる可能性が高いと言える。そこで、感染歴のある人には、回復から1か月以上の間隔を空けてワクチン接種をするのが適切であることを市のホームページ等で啓発するのが望ましいと考えるがどうか。

3 新型コロナウイルス感染症軽症者のセルフメディケーションについて

- (1) オミクロン株については、厚生労働省の有識者会議のメンバーである医師も、肥満や基礎疾患などの重症化リスクのない若い人にとっては、オミクロン株はただの風邪だと断言している。また、オミクロン株感染拡大先行地域の客観的なデータでも、オミクロン株は、①潜伏期間が平均2.8日、②ウイルス排出のピーク時期は発症から3日から6日後という点で季節性インフルエンザとあまり変わらず、③致死率に至っては0.006%で、0.1%以下のインフルエンザよりもむしろ有意に低いというのが実像である。したがって、オミクロン株は、デルタ株までの新型コロナウイルス感染症とは全く別の風邪類似の感染症であると言っても間違いではない。私たちは、風邪やインフ

ルエンザとは共存しており、風邪の場合、自分の判断で市販薬などで治療するセルフメディケーションが一般的である。これを軽症のコロナ感染者にも及ぼせば、医療崩壊はしないし、一般の患者が外来にかかりにくくなったり、検診事業が滞るといった事態も避けることができる。そこで、市民にお願いして、普段から防災グッズと同じように食料・水・風邪薬の三点セットを用意しておいてもらって、発症したときは、それで自宅療養すれば、風邪であれば大体の人は四、五日で回復するので、風邪症状が出た若い人には、基本的に医療機関を受診せずに自宅で風邪薬を飲んで休んでもらう。発熱や喉の痛み等の症状のある人に限り、どうしても新型コロナウイルス感染症ではないか気になる人については、簡易な、抗原定性検査の検査キットを使って自己検査をしてもらい、陽性ならば、そこで初めて医療機関を受診するというセルフスクリーニングシステムを常態化することを検討すべきと考えるがどうか。

4 新型コロナウイルス感染防止策と社会経済活動の両立について

- (1) 新型コロナウイルスの新たな変異株の感染拡大時に人々の社会経済活動を制限しても、基本的には感染拡大のスピードを緩やかにするだけの効果しかないので、ワクチン開発や医療体制の強化などのための時間稼ぎをするというような明確な目的がなければ、社会経済にダメージを与えるだけの有害無益な規制になる可能性が高い。幾らロックダウンなどの厳しい行動規制をして一時的に感染を抑え込んでも、途中でワクチン接種等による集団免疫の獲得のような劇的な状況変化がない限り、規制を解除すれば感染は急激に拡大するので、最終的な感染者数は、何もしなかった場合と同じになるというのが、感染症の原理原則である。その意味で、既に、変異株に対しても一定の効果があるワクチンが開発されて大多数の市民が2回接種済みで、有望な新型コロナウイルス治療薬も登場している今は、ある程度の感染者が出ることは許容して社会経済活動を維持するのがウイズコロナの時代のグローバルスタンダードとすることができ、感染者が増加すると、いち早く図書館・動物園・市民センター等の公共施設を休館・休園するという市の対応は、もう見直すべきではないのか。そうでないと、何のために膨大な人的・物的資源を投入してワクチン接種事業をしたのか説明できないのではないかと。
- (2) また、前述したとおり、オミクロン株の実態は、致死率約10%のSARSや致死率約34%のMERSと同等の2類感染症相当という新型コロナウイルスに対する、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）上の認定とはかけ離れたものであり、通常のインフルエンザと同じ5類感染症に認定するのが適切と考えられる。それを踏まえれば、速やかに社会経済活動を活性化させる方向にシフトすべきであり、その施策の一つとして、十分な感染防止策を取って地域が再開する屋外のイベントには、地域活性化の目的も兼ねて、臨時的な補助金を出して、社会経済活動の復活を後押しすべきと考えるがどうか。

5 企業版ふるさと納税について

- (1) 地方創生の一環として2016年度に創設された企業版ふるさと納税について、利用促進の観点から、以下を問う。

ア 企業版ふるさと納税の制度の概要は。

- イ 自治体、企業にとってのメリットは。また、デメリットはあるのか。
- ウ 本市が寄附を募集している事業と寄附の実績は。
- エ 本市の事業に関心を持たれる企業は多いと思う。利用促進のためにさらなる広報が必要と考えるが、どうか。

6 本市の公共施設の再配置について

- (1) 周南市公共施設再配置計画の改訂案が示されたが、その背景と内容は。
- (2) 令和3年12月に設置した公共施設マネジメント基金を今後運用していく上での課題として、以下を問う。
 - ア 計画性の観点から、基金を活用して少なくとも今後5年間で具体的に取り組む事業と必要額を早急に示すべきと考えるが、市の考えは。
 - イ 継続性の観点から、基金を活用して公共施設マネジメントを継続的に実行するためには、安定的な財源が必須と考えるが、財源確保策について市の考えは。
 - ウ より継続的な事業展開のために、この基金の運用方針等を作成することを提案するが、市の考えは。

2 周南市民の会

1 施政方針に対する質問

2 新年度予算に対する質問

1 一般会計 消防費 防災費 防災対策費 防災ラジオ普及事業費

- (1) 令和3年11月30日時点の防災ラジオの普及率は6.5%しかない。普及率向上のための策はあるのか。

2 一般会計 教育費 保健体育費 体育施設費 周南緑地体育施設等整備推進事業費

- (1) 本事業の施設整備・改修計画（案）の中に、グラウンドゴルフ等、シニア向けのスポーツや若者向けのスポーツ施設等が含まれていないが、検討を行ってはどうか。

3 一般会計

- (1) 令和4年度当初予算に未利用財産の有効活用への取組はどの程度反映されているのか。
- (2) 基金の確保と有効活用への具体的な取組は。

4 一般会計 教育費 小学校費 小学校建設費 小学校改修事業費

一般会計 教育費 中学校費 中学校建設費 中学校改修事業費

- (1) 本事業の内容は。また、前年度に比べ約6億円増額しているが、本予算額で児童生徒がより安心して快適に学べる教育環境を確保できるのか。
- (2) 特別教室や図書室への空調設備の整備は進めていくのか。

3 一般質問

1 住みよく魅力的なまちづくりに向けた取組について

- (1) 本市の魅力アップのため、令和3年度はシティープロモーションの観点からどのような取組をしてきたのか。
- (2) 安全運転の意識啓発と交通マナー向上に向けて、以下の点について、現在の取組状況と今後の方策を問う。
 - ア シートベルト着用の推進について。

イ ドライバーの交通マナーの啓蒙について。

ウ 自転車の安全な運転について。

2 民生委員の実態について

(1) 本市の民生委員の現状について、以下を問う。

ア 民生委員は年々高齢化していると思われるが、現状について市の見解は。

イ 担い手が不足していると感じるが、対策を考えているか。

3 子ども未来夢基金について

(1) 今までどのような事業に活用したのか。

(2) 本基金を活用して、周南市として、他市に例を見ないような施策を行うべきと思うが、考えはあるか。

4 都市計画について

(1) 本市の活性化のため、市街化調整区域の見直しをすべきと思うが、市の見解は。

(2) 富田地区のJR山陽本線以南のエリアには都市公園がない。何度も設置を提案しているが、市の見解は。

5 児童生徒の実情と小中学校の運営について

(1) 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果が昨年12月に公表された。

平成20年度の調査開始以来最も体力合計点が低かったと言われているが、本市の実情はどうか。

(2) 体育の時間以外での体力向上の取組が減少しているとの指摘もあるがどうか。

(3) 部活動の実情及び外部指導者の導入状況はどうか。

(4) 学校通学区の考え方はどうか。

(5) 周南緑地体育施設等整備推進事業の整備方針において、近隣の小学校とプールを共有化しているが、小中学校のプールの在り方についての基本方針は何か。

6 湯野地区の観光振興について

(1) 譲渡後の国民宿舎湯野荘に何を望むか。

(2) 温泉を核とした湯野地区の観光振興をどのように考えているか。

3 志高会

1 施政方針に対する質問

2 新年度予算に対する質問

1 一般会計 総務費 総務管理費 一般管理費 犯罪被害者等支援事業費

(1) 事業を始めるに当たっての背景や思いは。

(2) 具体的な支援体制は。

(3) 経済的な支援はもちろんのこと、本事業の対象市民が孤立することなく積極的に寄り添う姿勢が最も求められると思うが、市の覚悟は。

2 一般会計 衛生費 環境衛生費 狂犬病予防費 野犬等対策事業費

(1) 現状認識を問う。

(2) 昨年度までの体制から変更点はあるか。

3 一般会計 農林水産業費 農業費 農業振興費 集落営農等支援事業費

一般会計 農林水産業費 農業費 農業振興費 新規就農者確保・定着支援事業費

- (1) 今後の農業振興で目指すべき方向性は。
- (2) これらの事業においてスマート農業推進をどのように展開していくのか。

4 一般会計 土木費 道路橋りょう費 交通安全対策費 通学路安全対策事業費

- (1) 予算拡充となった背景は。
- (2) 予算計上は道路舗装工事と通学路安全対策工事の計15件と聞いているが、危険箇所のうち施工する優先順位はどのように決めたのか。
- (3) 15件以外の通学路について、緊急を要する場合等には追加で工事を行うことも視野に入れているか。
- (4) 通学路は市道以外も設定している場合があるが、危険解消に向けて積極的に介入してほしいと考えるが、市の姿勢を問う。

5 一般会計 教育費 社会教育費 社会教育振興費 成人式開催事業費

- (1) 本市の成人式は、令和2年度は中止、令和3年度は無観客でのライブ配信による開催となったが、参加予定者やその関係者からどのような声が寄せられたか。
- (2) 過去2年を踏まえて、令和4年度の開催方法等をどのように考えているか。
- (3) 記念品をもう少し充実したものにしてほしいとの声を聞くがどうか。

6 一般会計 民生費 児童福祉費 児童福祉総務費 多子世帯子育て応援事業費

- (1) これまでの事業の評価をどのように反映したか。
- (2) 令和2年度決算認定の際に、2人目の出産への支援も研究すべきとの意見を付したが、令和4年度予算への対応は前年どおりとのことであった。具体的にどのような考えであったのか。

7 一般会計 総務費 総務管理費 契約管理費 電子入札推進事業費

- (1) 入札事務の電子化導入に当たって業者からの問合せ状況は。
- (2) 導入する業務の範囲拡大は今後検討するのか。

8 一般会計 総務費 総務管理費 財産管理費 普通財産管理事業費

一般会計 総務費 総務管理費 コミュニティ推進費 福川南地区コミュニティセンター整備事業費

一般会計 教育費 保健体育費 学校給食費 学校給食センター解体事業費

- (1) それぞれの事業のタイムスケジュールは。
- (2) 3つの事業で対象となる施設は近接した場所である。解体後の一体的な整備方針を早急に検討すべきではないか。
- (3) 跡地活用に当たり、地域の意見を聴く予定はあるか。

9 一般会計 衛生費 保健衛生費 診療所費 北部診療体制検討事業費

- (1) 検討の対象となるエリアは。
- (2) 鹿野診療所に常勤医師を配置することとの関連性は。

10 一般会計 土木費 道路橋りょう費 道路新設改良費 中開作線整備事業費

- (1) 具体的な事業内容は。

(2) 福川南地区の長年の懸案事項である雨水対策も関係している。今後の予定と完成時期は。

1 1 一般会計 教育費 幼稚園費 幼稚園費 幼児教育推進事業費

- (1) 幼保小の連携が必要と言われるようになった原因は、何であると捉えているか。
- (2) 幼稚園、保育所、認定こども園、小学校それぞれにおいて連携の目的は共有されているのか。
- (3) 接続期カリキュラムはどう生かすのか。

1 2 一般会計 総務費 総務管理費 市民活動推進費 市民活動推進事業費

- (1) コミュニティービジネス等の創出を目標に掲げているが、実績をどのように捉え、今後進めていくのか。
- (2) 保険料が計上されているが、他の保険との整合性は。

1 3 一般会計 商工費 商工費 観光費 日常をときほぐす観光事業費

- (1) ワークーション環境の整備内容は。
- (2) 体験ツアー造成委託料の内容は。

1 4 一般会計 民生費 児童福祉費 保育費 保育所再編整備事業費

- (1) 公立保育所の再編整備計画に基づいた第二保育園・尚白保育園の再編に係る民間保育所整備に当たり、以下を問う。
 - ア 2者の応募があったが、計画内容に変更はないか。
 - イ 民間活力を生かした保育所運営について、どのように考えているか。

1 5 一般会計 農林水産業費 水産業費 水産業振興費 給・大島漁港あさり増養殖推進事業費

一般会計 農林水産業費 水産業費 水産業振興費 ブルーカーボン推進事業費

- (1) 調査委託料の内容は。
- (2) ブルーカーボンオフセット制度を活用した取組で本市の目指すものは何か。
- (3) 水産振興の推進にどのようにつなげていくのか。

1 6 一般会計 土木費 道路橋りょう費 道路新設改良費 本浦馬島線整備事業費（辺地対策事業）

- (1) 令和3年度は入札において2度の不落があり、予算が執行できなかった。その反省を踏まえ、どのように事業を進めるのか。

1 7 一般会計 教育費 教育総務費 教育指導費 スクールソーシャルワーカー配置事業費 一般会計 教育費 教育総務費 教育指導費 学校・家庭支援専門家配置事業費

- (1) 既に配置されているスクールソーシャルワーカーとの関係性は。また、どのような体制となるのか。

1 8 一般会計 民生費 老人福祉費 老人福祉費 高齢者バス・タクシー運賃助成事業費

- (1) 令和3年度の実績は。また、令和4年度はどのくらいの利用を見込んでいるのか。
- (2) 本事業の周知・啓発は。

3 一般質問

1 熊毛地区の汚水処理について

- (1) 平成25年度から、熊毛地区においても都市計画法による用途地域及び用途地域以外の一部について、都市計画税を徴収するようになった。都市計画税の徴収エリアと下水道事業計画エリアは合致するのか。
- (2) 平成15年度の合併以降、下水道事業計画区域の見直しが行われたのはなぜか。
- (3) 下水道の事業計画区域外及び未整備区域は、浄化槽の適正な管理を推進するため、補助制度があるが、補助額は適切であると考えるか。

2 鹿野総合支所及び現鹿野総合支所の跡地の整備について

- (1) 鹿野総合支所整備事業の基本設計の進捗状況は。また、今後住民を対象とした市民説明会等を行う予定はないのか。
- (2) 現在の鹿野総合支所の跡地に整備予定の観光交流拠点の進捗状況は。今後、住民を対象としたワークショップ等を行う予定はないのか。また、地域内に鹿野地域を「日本一のカフェの里」という声がある。そういう考え方を進めることはできないか。

4 公明党

1 施政方針に対する質問

2 新年度予算に対する質問

1 一般会計 民生費 児童福祉費 保育費 保育対策総合支援事業費

- (1) 本事業拡充の経緯と新たな取組の内容は。

2 一般会計 教育費 教育総務費 教育指導費 学校・家庭支援専門家配置事業費

- (1) 本事業開始の経緯と事業内容は。

3 一般会計 農林水産業費 林業費 林業振興費 次世代型林業推進事業費

- (1) 本事業開始の経緯と事業内容は。
- (2) どのような効果を期待しているか。

4 一般会計 消防費 防災費 防災対策費 避難所非常用電源設備整備事業費

- (1) 本事業開始の経緯と事業内容は。
- (2) 整備方針はあるのか。

5 一般会計 総務費 総務管理費 財産管理費 環境配慮型公用車導入推進事業費

- (1) 本事業開始の経緯と事業内容は。
- (2) 導入方針はあるのか。

6 一般会計 農林水産業費 水産業費 水産業振興費 ブルーカーボン推進事業費

- (1) 本事業開始の経緯と事業内容は。

3 一般質問

1 コロナ禍での子育て支援について

- (1) 令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金が支給されたが、所得制限で対象とならなかった世帯にも給付金を支給する考えはあるか。

2 防災対策について

- (1) 本市の土砂災害特別警戒区域における防災対策について、以下を問う。
 - ア 土砂災害特別警戒区域に指定されているのは何か所か。

イ 土砂災害特別警戒区域等に建つ危険住宅の解体や移転に係る経費への補助金制度があるが、その利用実績は。

ウ 土砂災害特別警戒区域内の既存建築物のうち、安全性を有していないものに対する改修費用の一部を補助する制度があるが、その利用実績は。

エ 地域の防災計画に土砂災害特別警戒区域の情報は十分に反映されているか。

(2) コロナ禍での避難対応について、以下を問う。

ア 避難所への避難実績は。

イ 避難所での感染防止対策は。

ウ コロナ禍でも安心して避難できるように、ホテル等へ避難される方に対して、補助金を支給する制度の検討はできないか。

3 支援制度の周知について

(1) コロナ禍において、市民が国・県・市が行う新型コロナウイルス感染症に係る支援制度をウェブ上で検索する頻度が高まっており、その内容も多種多様である。そこで各支援制度が一元化されたバナーを市ホームページ上に作成するなど、より検索しやすいホームページとなるよう更新すべきと考えるが、どうか。

4 「誰一人取り残さない」デジタル化社会の推進について

(1) 市民サービス向上のためのデジタル化推進について、以下を問う。

ア マイナンバーカード取得率向上に向けた取組状況は。

イ マイナポータル「ぴったりサービス」の利用状況と利便性周知への取組は。

ウ 自治体マイナポイントを活用した地域経済の振興や健康活動促進への取組は。

(2) AI（人工知能）技術を活用した自動会話プログラムであるチャットボット総合案内ツールの導入を提案するが、本市の見解は。

(3) デジタル化による庁内事務効率化の進捗は。

(4) DX（デジタルトランスフォーメーション）推進体制について、以下を問う。

ア デジタル化推進の司令塔である本市のスマートシティ推進室の役割は。

イ 組織間の横断的な連携は、十分に機能しているか。

ウ デジタル人材育成の取組は。

(5) 行政サービスのキャッシュレス化を推進すべきと考えるが、どうか。

5 日本共産党

1 施政方針に対する質問

2 新年度予算に対する質問

1 国民健康保険特別会計

(1) 国民健康保険料について、以下を問う。

ア 保険料率等の引下げとあるが、どの部分を引き下げるのか。

イ 1人当たりの保険料は幾らか。県が示す標準保険料率と比較して幾らの引下げとなるのか。

ウ 基金繰入れは約4億9,000万円だが、令和4年度末の基金保有額は幾らか。

エ 新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る国民健康

保険料について、令和2年度と令和3年度は減免を実施してきたが、令和4年度も引き続き実施してはどうか。

3 一般質問

1 徳山駅周辺官民連携（PPP）管理運営事業について

(1) 本市は、令和5年度から、徳山駅周辺の道路や公園、駐車場など19の施設を官民連携（PPP）管理運営事業として実施することを明らかにした。そこで、以下を問う。

ア 官民連携管理運営事業は、国土交通省官民連携モデル形成支援の活用とあるが、そもそもこの事業に係る上位計画は遡及していけば、どこに行き着くのか。

イ 代々木公園地下駐車場が、官民連携の対象施設に挙がっていないが、サウンディング調査結果はどういうものであったか。この事業の中で位置づけられない理由は。

ウ コスト削減や、民間ノウハウなど企業の特徴を生かした事業運営を行うと言うが、それでは自治体が自治体らしくなくなると思う。このようなやり方は、公共サービスの産業化であり、問題と思わないか。また、地元業者の公共事業への参入機会を奪うのではないか。

2 ゲノム編集トマトの苗の無償配布について

(1) 民間事業者が、ゲノム編集による新品種のトマトの苗を全国の福祉施設や小学校に配布していると聞かすが、トマトの苗を受け取らないことを求める要望が、各地の住民から全国の自治体の長、教育長、担当者に対して行われている。市内の保護者から本市の対応を心配する声があるが、本市に働きかけがあったときにどう対応するのか。

3 森林の管理と災害対策について

(1) 近年、土石流による被害が続いている。日々の生活の中で山が荒れることで被害を受けることは多々ある。山に入ると高木や竹の立ち枯れが目立つが、これは土中環境の荒廃が原因ではないかと思われる。森林の適正な管理が、自然を守り、観光資源としての活用や災害を防ぐことにつながると考えるが、どうか。

4 鹿野総合支所について

(1) 鹿野総合支所の建て替えと現在の鹿野総合支所跡地利用の進捗状況について、問う。

5 高齢者バス・タクシー運賃助成事業の助成券の申請・交付方法を改善することについて

(1) 申請に係る高齢者の負担軽減と制度の利用者を増やすためにも、郵送による申請・交付を検討してはどうか。

6 エssenシャルワーカーの処遇改善について

(1) 国は、「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」として、看護、介護、保育、幼児教育などの現場で働く方々の収入の引上げ等を掲げ、それぞれの分野で収入を3%程度引き上げるための処遇改善臨時特例事業が実施されている。市の児童クラブ指導員や保育士等の処遇改善について、国の方針どおり行う考えはあるか。

7 気候危機への対応について

(1) 脱炭素社会の実現に向けて本市として、どのように取り組んでいくのか。以下を問う。

ア 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく地方公共団体実行計画（区域施策編）を策定し、取組を進めてはどうか。

イ 再生可能エネルギーを活用して発電設備を設置しようとする市民団体やグループを支援する制度をつくることを検討してはどうか。

ウ 周南市公共施設再配置計画の改訂に当たって、既存の公共施設における老朽化対策等の実施に際して、環境負荷低減に資する技術の採用や、太陽光発電の導入により、脱炭素化を推進するとの方針が示される見込みであるが、既存施設の老朽化対策としてだけでなく、最近建設した公共施設や今後建設する公共施設についても積極的に太陽光パネルを設置するなど、脱炭素社会を目指す取組を進めてはどうか。

8 小中学校における新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組について

(1) 現在、どのような取組を行っているか。また、新年度を迎えるに当たってどのように取り組んでいくのか。

(2) 国から配布された抗原検査キットの活用状況はどうか。

9 就学援助制度の申請方法の改善について

(1) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響が広がる中、保護者の教育費負担を補助する就学援助制度をより利用しやすくする方法として、オンラインでも申請できるようにしてはどうか。

6 自由民主党周南

1 施政方針に対する質問

2 新年度予算に対する質問

1 一般会計

各特別会計

各企業会計

(1) 第4次行財政改革プラン取組効果の令和4年度当初予算への反映について、以下を問う。

ア 第4次行財政改革プランの進捗状況は。

イ ネーミングライツ導入の拡充は検討されているか。

ウ 補助金・交付金の見直しが図られたが、その内訳は。補助金交付基準の精査や効果の検証はどのように行っているか。

2 一般会計 債務負担行為 徳山駅周辺官民連携管理運営委託料

(1) 徳山駅周辺の管理をPPP（官民連携）で実施するメリットは何か。

(2) 今定例会で上程されている周南市徳山駅前広場等条例との関係はどうなるのか。

3 一般会計

(1) 鹿野地域を対象とする新年度予算の総計は幾らか。また、費目別ではどうか。

4 一般会計 総務費 戸籍住民基本台帳費 戸籍住民基本台帳費 キャッシュレス決済推進事業費

(1) 市民課窓口を導入するとあるが、各総合支所や各支所窓口への導入方針はあるのか。

5 一般会計 民生費 老人福祉費 老人福祉費 高齢者バス・タクシー運賃助成事業費

(1) 申請率が低いと聞くが、改善の余地はないのか。

6 一般会計 民生費 児童福祉費 保育費 保育対策総合支援事業費

- (1) 私立の保育所等への看護師等の専門職の配置支援について、以下を問う。
- ア 配置支援の目的は。どのような制度設計なのか。
 - イ 病児保育事業につながる取組か。
 - ウ 公立の保育所等ではどのような対応をしているのか。
 - エ 市内全ての保育所等に看護師等を巡回させる体制の構築は検討しなかったのか。

**7 一般会計 衛生費 環境衛生費 環境対策費 脱炭素社会推進事業費
一般会計 商工費 商工費 企業立地推進費 水素利活用推進事業費**

- (1) これらの事業の各種補助金について、対象要件は。
- (2) 地球温暖化対策にどのくらい効果があると考えているか。

8 一般会計 商工費 商工費 観光費 日常をときほぐす観光事業費

- (1) ワークेशन環境の整備について、以下を問う。
- ア 事業の趣旨は。
 - イ どの程度の需要が見込めるのか。

9 一般会計 教育費 社会教育費 青少年教育推進費 学校・家庭・地域の連携協力推進事業費

- (1) 放課後子供教室について、以下を問う。
- ア 放課後子供教室運営委託料の内訳は。
 - イ スポーツや音楽、美術、外国語学習、防災などの専門性のある人材を登用するなど、プログラム実施の担い手を拡充することは検討できないか。

10 一般会計 教育費 保健体育費 体育施設費 周南緑地体育施設等整備推進事業費

- (1) PFIアドバイザー業務を委託する目的は何か。

11 水道事業会計 水道事業費用 営業費用 配水及び給水費

- (1) 水道施設の修理当番について、令和2年度までは、徳山地域と新南陽地域に所在する2つの管工事協同組合に、それぞれ所在する地域を対象エリアとして業務を委託してきた。また、令和3年度には、徳山地域に熊毛地域、新南陽地域に鹿野地域を加えた地域を対象エリアとして、同協同組合に業務を委託している。現在、新たに本市で3つ目となる組合が設立されたとのことだが、令和4年度の当番体制はどのようにするのか。予算はどのように積算しているか。

12 下水道事業会計 下水道事業資本的支出 建設改良費 公共下水道建設費

- (1) 徳山中央浄化センターの再構築事業の進捗状況及び令和4年度の取組内容は。

13 病院事業会計

介護老人保健施設事業会計

- (1) 施設設置者である市と、施設の管理運営を行う公益財団法人周南市医療公社の関係は。また、予算編成過程における連携はあるのか。
- (2) 経営改善に向けた取組による効果は、どのように予算に反映されているか。
- (3) 検診センター設置の計画があるのか。令和4年度予算における取組は。
- (4) 医療機関に対するサイバー攻撃が急増しているが、サイバーセキュリティー対策の現在の取組状況及び令和4年度の取組内容は。

3 一般質問

1 ヒトパピローマウイルス感染症に係る定期接種の今後の対応について

(1) ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン（HPVワクチン）については、平成25年6月から積極的勧奨が差し控えられてきたが、令和4年4月から積極的勧奨を再開する方針が厚生労働省から示された。そこで、以下を問う。

ア 本市におけるHPVワクチンの接種状況は。

イ ワクチンの接種に当たっては、ワクチンの効果とリスクを正しく知り、接種するかどうか判断できるようにしていくことが大切であると考えているが、本市における積極的な勧奨の具体的な方法は。

ウ 平成25年以降に接種機会を逃した方への周知と対応は。

エ 接種対象者や保護者が安心してワクチンを受けるためには、万が一ワクチン接種後に体調の変化を感じた際に、適切に相談や診療などの対応が行われることが大切と考えるが、本市ではどのような体制を取っているか。

オ 本年度の新学習指導要領から中学校で、がん教育が全面实施されている。接種対象者である中学生に対してHPVワクチンについての学習は重要と考えるが、どうか。

2 学習用端末導入に伴う課題について

(1) 学習用端末導入について、以下を問う。

ア 導入状況は。

イ 児童生徒の理解度に合わせた学習やクラス内の意見交換などが実施されているか。

ウ GIGAスクール構想は進んでいるか。

エ 教員や児童生徒に端末の使い方を教えるICT支援の取組状況は。

オ IDやパスワードの管理は適切か。

カ 端末を使用するに当たってのトラブルはないか。また、現状把握はなされているか。

キ 教員への研修は十分か。

ク 端末導入で得られるメリットは。

3 本市の漁業の現状と課題について

(1) 本市の漁業を取り巻く現状は。また、課題に対する対策について、以下を問う。

ア 地方卸売市場水産物市場の施設更新及び機能強化は。

イ 種苗放流事業の充実は。また、水揚げ量の推移は。

ウ 新規就業者の確保への継続的な支援は。

エ 六次産業化に向けての対応は。

7 参輝会

1 施政方針に対する質問

2 新年度予算に対する質問

1 一般会計 総務費 総務管理費 公共交通対策費 コミュニティ交通運行事業費

(1) 鹿野地域のコミュニティ交通は十数年にわたり随意契約が続いている。以前から住民の様々な声を聞くが、実情を把握しているか。将来を見据えれば、コミュニティの地域経営会社に運営を任せることも一つの手段ではないかと思うが、どうか。

2 一般会計 衛生費 保健衛生費 診療所費 北部診療体制検討事業費

国民健康保険鹿野診療所特別会計 医業費 医業費 医療用機械器具費 高額医療用機械器具等整備事業費

- (1) 鹿野診療所に待望の常勤医師が雇用されることだが、どのような地域医療の展開になるのか。
- (2) 山口県立総合医療センターからの派遣医師との関係はどうなるのか。
- (3) 特別会計において、診療設備整備事業で購入する高額医療用機械器具とは何か。
- (4) 広域的な医療体制の構築とは、どのようなイメージか。また、北部診療体制検討事業の予算の内容は。

3 一般会計 商工費 商工費 観光費 鹿野地域観光交流推進事業費

- (1) 街なか街灯リニューアル事業の内容はどのようなものか。また、この事業を起点に現鹿野総合支所跡地周辺も含む、やや広い範囲での景観形成もイメージしながら、観光拠点開発を進めてほしいがどうか。
- (2) 鹿野地域観光交流促進交付金の交付先と事業の目的は何か。

4 一般会計 土木費 道路橋りょう費 道路維持費 除雪対策費

- (1) 昨年の大雪の経験を踏まえ、除雪器具や体制は十分な内容となっているか。

5 一般会計 農林水産業費 農業費 農業振興費 新規就農者確保・定着支援事業費

- (1) 令和4年度の新規就農・就業者数7人との目標について、地区別見込みはあるのか。
- (2) 優良農地の確保は十分か。
- (3) 来年度をもって本市北部の県立高校2校が廃校となる。県との交渉により、そのグラウンドを農用地として新規就農者に利活用させることは、新規就農者の確保・定着に有効と考えるが、どのような支援を考えているか。

6 一般会計 農林水産業費 農業費 農業振興費 わさび産地化推進事業費

- (1) 令和3年度の反省から、県農林総合技術センターの技術指導を受けるほかに、栽培施設の整備、拡充が必要と考えるが、令和4年度の取組内容は。

7 一般会計 総務費 総務管理費 一般管理費 未来へつなぐ空き家対策事業費

- (1) 危険空き家解体事業補助金、空き家リフォーム事業補助金の審査基準の内容は。

8 一般会計 民生費 児童福祉費 保育費 保育対策総合支援事業費

- (1) 出産・育児休暇を終え職場に復帰したくても保育所等に子供が預けられない状況があると聞く。本市独自の取組が必要と考えるが、本事業での取組内容は。
- (2) 私立保育所においても、子育て中の保育士が働きやすい環境となる方策が必要と考えるが、本事業ではどのような取組があるか。

9 一般会計 教育費 保健体育費 体育施設費 周南緑地体育施設等整備推進事業費

- (1) 水泳場を屋内25メートル温水プールとする根拠は何か。
- (2) 民間のノウハウを活用した施設の整備・改修や維持管理・運営とあるが利用者増、コスト低減に対し、どのようなノウハウを期待しているか。